

## 三田市議会市民との意見交換会 実施報告書

意見交換会名	お聞かせください“みなさんの声”	班名	3班
開催日時	令和7年4月20日(日)午後1時00分～午後2時30分		
開催場所	市役所6階 委員会室		
出席議員	(班長)小杉 (副班長・司会)中田 出席議員:今北・長尾(記録)・小山・村手・橋本		
参加人数	9人		
実施概要 (テーマ・報告 内容・進行等)	◆議会報告 令和7年度予算審査報告 ◆意見交換 テーマ「防犯防災・人口減少対策・地域医療について」		
主な意見・ 要望・提案 (意見交換の 内容)	◆議会報告 令和7年度予算審査報告 Q 中学校給食の無料化は4月からだが、子育て支援医療費の無料化は10月からであるので、来年度はその倍の予算が必要になるのか。 A 単純に、今年度の増加分の倍の予算となる。 Q ふるさと納税については年末に寄附額が増加するのは当然と考える。来年度以降、財政的に更に厳しくなると思うが、その対策をどのように考えているか。 A 公共施設運営の見直しが不可欠であり、それに伴い、財源も整備していく。公共サービスはこれまでと同様とはいかないため、住民同士の支えあいや市民の自主的な活動が重要となり、その支援のあり方を考える必要がある。 Q 新統合病院について、地権者との話し合いはどの程度進んでいるのか。 A 土地の確保費用については神戸市が担うことになっており、調査とともに地権者との調整を進めている。市は神戸市とは綿密に連携しながら進めている。 Q 予算の新規拡充事業の内、市民病院関連事業はどのようなものがあるか。 A 整備候補地基礎調査事業(用地測量等)約7,500万円、基本設計・実施設計策定事業約3億2,400万円、整備支援事業コンストラクションマネジメント約2,800万円、開院支援事業、医療機器整備等約5,000万円である。 Q 基金残高がどの程度になると三田市としては危険な状態といえるのか。 A 基金の金額だけで市の財政状況を判断できないため、非常に難しい質問である。標準財政規模の1割が財政調整基金の目安と言われている。 ◆意見交換会 【地域医療】 Q 新病院の建設にかかる費用は約521億円に膨らんでおり、今後10年で約93億円の収支不足が見込まれている。このままでは、市民サービスが削られ、市民の負担が増えるのではないか。新病院建設を中止し、現市民病院を充実させる方向にできないか。 A そのような意見は他からも聞いている。議会としては、市民の命を守ることを最善に考えている。現市民病院の19診療科では十分ではないと考える。		

Q 新病院は35診療科になると聞いている。多数の医師が必要だが、確保はできるのか。また、新病院建設の財源確保のために住民税や健康保険等の負担が増えたと、立派な病院ができたとしても受診できなくなる。再編統合ありきではなく、市民ありきで考えてほしい。長期的に経営が継続できるのか不安である。

A 懸念は理解できる。そうした懸念を解決できる方法を模索しながら進めているところである。働き方改革等で、24時間救急を現在の医師数で維持するのは不可能になってきている。また、現在の市民病院は周産期医療と小児科の体制的に不十分である。済生会兵庫県病院と統合することで、この点を強化できる。

**【下水道】**

Q 埼玉県八潮市で大きな下水道管起因の道路陥没事故があったが、三田市は大丈夫か。今後の修繕はどうなっているか。

A 三田市には八潮市のような大きな下水道管はなく、最大直径2mと聞いているので、安心してほしい。ニュータウン開発で同時期に建設されたものが多数あるため、下水道管も同時期に更新する必要がある。心配しなくてよいとまでは言えないが、長期的な計画を立てながら、進めているところである。

**【その他意見：地域課題】**

Q 自治会加入者が年々減少していることに危機感を持っている。加入率の減少を止める手段について、市としての対策は。議会としても自治会の意味を市民が理解するような役割を果たしてほしい。

A 市は、1自治会に4万円、自治会に加入していない世帯も含め世帯数につき400円の補助を年間支出している。議会としても、常に市に自治会加入者を増やすよう議論も要望もしている。自治会単位ではなく、市としての議論が必要だと認識している。

Q ニュータウンの衰退が急速に進んでいる。議員はどのように考えているか。

A ニュータウンだけでなく、農村部も少子高齢化が進み、衰退しつつあるため、市全体で考えていく必要がある。若い人の就農などによる移住等の例もあるが、市の支援は十分ではなく、しっかり取り組む必要がある。

令和 7年 4月25日

議会改革推進会議委員長 様

上記のとおり、実施いたしましたので報告します。

班長 小杉 崇浩